

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：中央第三自治会（栄町、大川町、新町通、本通五丁目）

開催場所：大川町公会堂

開催日時：平成 28 年 9 月 7 日（水）19 時 00 分～20 時 40 分

参加者：自治会側【地域住民の方 23 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、眞部危機管理部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、山内協働推進課係長】

内 容

① 小杉自治会長あいさつ

- ・大祭の準備に入っている。一ヶ月後には祭りとなるが、中老は青年をサポートして欲しい。
- ・お忙しい中、市長さんに来ていただき、ありがたいことだ。日頃、皆さんが感じていることを質問してほしい。

② 市長からの市政報告

■はじめに

- ・この車座トークは、68 の全部の自治会をまわるということで、最初の 2 年間は「語る会」ということで呼んでいただいたところに伺っていたが、呼んでいただけない自治会もあり、全部限なくまわるという事は難しかった。
- ・また、今年と来年の 2 年をかけて次の総合計画（H30～37）の策定作業を行っているが、各地域の課題や特色、さらにはどのような取り組みをしているのかを確認して、それを市政に反映したいということでまわっている。
- ・島田大祭は、市民の皆さんがこの祭りの意味や中身を知れば、誇りが持てる祭りであると思えるではないか。この祭りを市内全域に広げていく必要があるのではないか。

■中央第三自治会の人口、世帯について

- ・中央第三自治会の 8 月 31 日現在の世帯数は 229 世帯、人口は 520 人で、高齢者人口は 149 人、高齢化率は 28.7%となっている。市の平均が 29.4%なので、いくらか低い。15 歳以下の人口は 77 人で人口に占める割合は 14.8%となっている。市の平均は 13.8%なので子どもの数はいくらか多い。
- ・まちなど真ん中。区画整理（基盤整備）も済んでいる地域。

■行政（政治）の役割が変わってきていることについて

- ・島田が今、一番課題としていることは人口減少。少子高齢化に歯止めがかからない状況であり、待ったなしの対策が求められている。
- ・地方に人口を増やし、地域の活力を取り戻すため、島田市でも地方創生に取り組んでいる。昨年度は、「島田市まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」を策定しており、今後、様々な施策を講じる必要がある。
- ・子どもを産める年代の絶対数が減ってきた。合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子供の平均数）が増えても、産むことの出来る女性の絶対数が減ってきているので、子供の数が急激に増えるということは難しい。
- ・商店街について、元気がないという話もそのとおりだと思うが、商店街が丸ごと活性化した地域は日本にはない。
- ・商店街は高度成長期に形成されたもので、人口減少が進んでいる現状においては、（島田市は、かつてはお茶の景気が市内隅々まで浸透して賑わいがあつたが、下降線をたどっている現状においては）大きな問題であると考えている。商店主の皆さんも高齢化している。
- ・商店街を含めた中心市街地を、どんな風にしたらいいかということで、今年と来年2年かけて、中心市街地の活性化計画を策定する。ただ、今までのように、何かを造るというために策定するだけではなく、あらゆる観点から見て活性化に繋がる計画をつくっていく必要がある。
- ・島田に転勤してくる転勤族の皆さんからは、他のどの地域よりも島田はいいと言っている。（生活環境が安心・安全、自然が豊か、人が温かいなど）
- ・こうした良さを島田の売りにしていくことも必要。
- ・商店街を丸ごと元気にするのではなく、一店舗ずつリノベーションしながら活性化していく手法が望ましいのではないかと思う。
- ・住む人を増やしていく政策として、金谷インターチェンジ周辺では、大規模開発によって企業誘致につなげていく取り組みや、賑わい交流拠点をつくる取り組み、牧之原台地の旧金中跡地の5.5haの土地の利活用を県と連携して取り組んでいる。
- ・今までと同じ考え方ではないまちづくりを考えていく必要がある。
- ・高度成長期（右肩上がりの時代）は、人口も収入も税収も右肩上がりだった。土地の価格も上がっていった。
- ・こういう時代であれば、借金しても返せていけた。
- ・これからの時代（少子高齢化）は、2025年には団塊の世代が全て後期高齢者になり、高齢化も2025年から30年にかけて高齢化率がピークを迎えると言われている。こういう時代においては、医療や介護に多額の費用がかかる。子育て施策にも力を入れなければならない。
- ・今までのように税収も望めない。そうなると市長の役割は10年後の時代を見据えて、今何をしなければいけないかを考える必要がある。
- ・借金がたくさんあったら、若い人たちが次世代で投資したいものに投資できなくなる。お金がないわけではなくて、賢く使う「集中と選択」が必要。
- ・その中で病院建設を最優先で取り組んでいる。

■新病院の建設について

- ・今年基本設計をつくっている。12月末になれば概ねの施設の状況、建設費用などを皆さんにお示し出来るようになる。
- ・造る場所は、今の病院の東側の駐車場の場所で、道を付け替えたりする。あの土地だと三角形の建物になってしまうのではないかと思われるかもしれないが、今のところはT字型のような形になる予定としている。使いやすい形にしていきたい。
- ・床面積は35,000㎡、7～8階建て、屋上にはヘリポートを設置して、ドクターヘリの患者に対する医療行為を効率的に行えるようにしていきたい。
- ・医療機器に約50億円で、医療機器を含む総事業費約247億円を見込んでいる。
- ・医師の確保も努めていきたい。京大系の医師の派遣を受けてきたが、研修医が自分の研修先を選択する時代になり、安定的に医師を確保するためには、常時派遣してもらえらる浜松医大との連携を密にしているし、今後も継続して派遣していただけるように取り組んでいきたい。
- ・液状化の可能性はない。粘土質であるが岩盤までの距離はある。土壌改良と岩盤まで杭を打つことで建設には支障がないとの設計業者の話を受けている。
- ・検診センター、救急棟は残す。救急棟は透析センターとしていきたい。
- ・志太・榛原地域には4つも大きな病院がある。人口減少や医師の確保の課題などに対応するため、将来的には一つになればいいと考えている。
現在は、得意な科目などを活用して、医師の相互派遣や診療科目の補完を通じて連携している。
- ・この病院建設の目処を付けてから次の対応を考えている。

■市民会館について

- ・5月から市民会館を壊し始め、できれば、島田の大祭に間に合うようスピードアップするようにと言っている。この秋までに、市役所の隣にある市民会館は更地になって、当面の間は駐車場とイベント広場、そして、中心市街地の災害時の避難場所等に使うところだと思っている。
- ・市民会館は県内でも2番目に早くできて、あの規模で、非常に音響も良くて、県内一の市民会館だった。島田の文化の中心だった。
- ・市民会館が市民の誇りであったということは十分承知をしている。
- ・昭和50年代には、プラザ「おおるり」や小中学校など一挙に建設されている。このため、経年劣化が進んでおり、今後、どのように長寿命化や再編・統合をし、建替えや維持管理費を抑制していけばよいか課題となっている。
- ・市役所も築53年で手狭になってきている。安定的な市の運営の中では、市民会館とおおるりと市役所を複合施設とする考え方や民間活力を取り入れた手法などを研究して計画的に考えて取り組んでいきたい。
- ・県も牧之原台地の旧金中跡地5.5haの土地を民間の力を借りて市と連携して整備しようとしている。
- ・今は大胆な発想の転換、今までとは同じやり方ではない方法で取り組んでいきたい。
- ・島田市は都市経営をする会社。究極のサービス業である。

■これからの地域課題への対応について

- ・市役所も変わらなければいけないが、地域住民の皆さんも変わっていかなければならない。
 - ・自分たちの満足度を高めるために、行政だけをお願いするだけではなく、高齢化に伴い、見守り、助け合いのシステムが必要。
 - ・それを、今までのように御好意でやるのかということも考えなければならない。
 - ・ある地域では、ごみ出し券などを活用して生活支援のサービスを行っていく計画がある。サービスを提供した人は、たとえ 500 円でも収入になる。
 - ・放課後児童クラブに取り組んでいる地域もある。
 - ・交通弱者対策として、車をボランティアで走らせている地域もある。
 - ・地域の課題解決のために自分たちに何ができるのかということを考えて動き出している地域がある。
 - ・よく聞かれる質問に、高齢者の未来に対してどういう支援をするのかというものがある。
 - ・地域包括ケアシステムという取り組みを行っており、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援をパッケージにしてサポートをする取り組みで新総合事業という名称で取り組んでいる。
 - ・国の医療費は 1 兆円ずつ増えているので、おそらく要支援の人たちは、将来的に介護サービスが受けられなくなるかもしれない。
 - ・そこをどうサポートするのかという課題から新総合事業をスタートさせている。
 - ・これは地域の皆様にも支えていただきながら進めていく事業で、市も自立した生活を送っていただけるよう、ヘルパー、生活支援員の派遣や元気アップシニアサポーター制度など健康で長生きを第一の目標にして取り組んでいる。
 - ・余談になるが、医療費が増える要因は、例えば、C型肝炎の薬は一錠 8 万円で、3 ヶ月服用しなければならず、3 ヶ月で 720 万円掛かる。でも、国民健康保険があるから、個人負担は月 2 万円しかかからない。オブジーボという肺がんの薬が新薬の認証を受けたが、1 年間薬を飲む必要があり、1 年間で 3, 500 万円の薬代が掛かる。これも、個人負担は月 2 万円しかかからない。国民健康保険の掛金が高いと言われるが、こうした薬が開発され認証を受けると、掛金も高くならざるを得なくなっている。
 - ・高額医療がどんどん増えている。国民皆保険はいい制度であるが、医療の運営上課題がある。
 - ・こうした医療、介護をみんなでサポートしたり、病院にいかなくても健康でいられる生活習慣を身につけていくことが必要。
- この 4 月から 24 時間訪問看護ステーションをはじめている。8 人の医療行為の出来るナースを配置している。もし、夜中に具合が悪くなくても、かかりつけの医師の指示書があれば、ナースが指示書に従って医療行為ができるというもの。安心して在宅で医療が受けられる。
- ・往診する開業医の高齢化が進んでいることへの対応についても 24 時間訪問看護ステーションの取り組みの一つ。
 - ・保険は 1 割負担の方は 1 割負担となる。
 - ・施設から在宅へという医療制度の流れの中で、救急病院である市民病院について平均入院日数は現在 14 日であるが、9 日間にしていこうというものがある。(診療報酬が減額となるため。)

- ・退院しても在宅で療養するのは不安な方も多い中で、この24時間訪問看護ステーションの取り組みは必要である。
- ・島田市民の安心・安全や市民に寄り添う行政に加え、稼ぐ仕組みもつくっていかなくてはならない。
- ・平成20年から平成25年くらいまでの間、転出する人は180人～400人くらいだった。去年、おとしあたりは、その数が70人程度に減ってきている。
- ・今年度の4、5、6月では人口が増えている。
- ・いくらかでもその成果が出てきているとともに、移住・定住施策も重点的に取り組んでいる。今年度の4、5、6月において、県内で2番目に移住者が多かった。
- ・選ばれる街としての政策が評価されつつあると感じている。
- ・転入してくる人の目線で島田市をアピールできるようプロモーションビデオ「住んでご島田」をつくっている。「しまだのおしごと」や「しまいく」などのインターネットサイトも開設している。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■日本の借金、人口について</p> <p>日本は安全で良い国。島田は田舎でも都会でもなく、ちょうど良い。ただし、日本の借金は約1,040兆円で、1人あたり840～850万円になる。これだけ借金があるような自転車操業では、いつ破綻するかわからない。</p> <p>人口は増えているのか。人口を増やすための策はいろいろあると思う。昔は5人も6人も兄弟がいたが、今は1人か2人。昔は、独身でいる人が少なかったが、今はすごく多い。</p>	<p>●1975年から子どもの数は減ってきている。40年かかって減ってきたものを回復させるのは同じくらいの年数がかかるため、今後は人口が減っていくことを前提として考えていかなければならない。</p> <p>島田では、結婚している人は、だいたい2人以上子どもを産んでいるが、生涯、一度も結婚しない人の割合が男性の場合25.2%と多い。女性が13%となっており、結婚しない人が増えたことがわかる。もう一つは、晩婚化が進んでいる。結婚する年齢の平均が、女性の平均29歳、男性が30歳。30歳になってから子どもを産む人が普通になってくると、4人も5人も子どもを産めない。もっと早く結婚して、もっと早く子どもを産むことを、社会みんなが認める働き方ができる日本になっていかないと、なかなか変わらない。この問題は、一つの自治体がなんとかできる話を超えている。</p> <p>働き方の問題や、教育にお金がかかること、子育て、医療費、こういったことはナショナルミニマムといって、国が面倒を見るという方針をしっかりと出しているところは、世界的に見ても少しずつ人口が増えてきている。</p> <p>日本の借金がこんなに多いのに、なぜ（破綻せずに）もっているかとい</p>

		<p>うと、日本の国民が、それを上回る貯金を持っているからであり、だから、国債の価値が下がらない。</p> <p>年金をもらっている 80 歳を過ぎた方たちは、年金の半分は貯金をしているという話を聞いた。そのくらい、不安のある日本の社会なのだと思うし、今の日本の課題だと思う。</p>
2	<p>■新市民病院について</p> <p>新市民病院について、島田市単独で造ると 247 億円かかるのなら、近隣の 3 市や 4 市で、金谷中の跡地などに大きい病院を造って、優秀な医師を確保し、道路整備を進めれば、すごく良い病院ができるのではないか。</p>	<p>●病院について統合していく時代が来ると思っているし、方向性として自分の中で持っている。</p> <p>ただ、今すぐにはとても難しいということも、市長になってからの 4 年間で感じた。島田市民病院が無くなって、焼津に病院ができるからそっちへ行ってくれと言ったら、島田の病院を守らずに、市長は何をやっているんだという批判が出ると思う。</p> <p>医師にしても、東大系や京大系などによって、メスの入れ方や投薬の種類が違うということだが、そういう先生方を一つにして新しい病院を造るのは、なかなか難しいと思った。だけど、提案はおっしゃるとおりであり、そういうことができる時代に必ずなってくる。</p> <p>その時期は必ずやってくると思っているので、他の用途へ使いまわしもできるような病院の建設（建物の中の仕切りを後で自由に換えられるようにするなど）に配慮しながら造っていきたいと思っている。</p>
3	<p>■住みやすい市、人口が増えている町について</p> <p>日本で一番住みやすいのは北九州市だということをテレビで見た。なぜかという、物価が安く、社会保障が充実している。</p> <p>静岡県で一番人口が増えているのは長泉町。島田も参考にしてほしい。</p>	<p>●北九州市は、大規模な企業が多くあり、税収も多くあるところだと思う。長泉町は人口が増えていて、子育てに熱心だという話がある。島田市と長泉町は、県内でもトップクラスの子育て支援や教育を行っている町であるが、違いは、長泉町は転勤をする若い人が多い町であり、島田市は、持家率が県内 2 位であり、定住する人が多い町である。定住する人が多い町の子育て支援と、転勤で次々に人が変わる町の子育て支援は違う。そういう意味も含めて、島田市の子育て支援は、どこにも負けないと思って、手厚くやっている。</p> <p>特徴はそれぞれの町にあるので、自分の町を誇りに思いながらやれると</p>

		<p>いいなと思う。ここに住んでいる自分たちが、島田は良いところがいっぱいあって、大好きだと思わなかったら、市外の人が島田を良いと思ってくれるはずがない。自分たちの町に誇りを持って、はじめて市外の人にとっても魅力的な町になると思う。</p> <p>おび通りについて、せめて土日だけでも他の使い方ができないかということで、検討してきた。</p> <p>おび通りは市道認定されており、何かやるときは警察に届出をして許可をもらわないとならない。緑地指定することで解決することもあるが、おび通りに面しているお宅の建ぺい率が変わってしまうといった問題もあるので、島田市道の上に緑地指定の二重指定ができないかを商工課で検討している。秋くらいから、週末だけでも何とかおび通りでいろいろな試みができないかということを考えている。</p> <p>ぴ〜ファイブの1階がずっと空いたままである。家賃が非常に高く、パチンコ屋仕様になっているために、搬入口が無く、ファミレスも、コンビニも、マーケットも造れない。どうしたら街の活性化につながるかということで、計画をつめている。来年には皆様にお知らせできるのではないかなと思う。</p> <p>ぴ〜ファイブは駐車場だけでは採算がとれないが、中心市街地活性化という中で、国からの補助金で造っているのだから、まちづくり島田も、簡単にやめたり売ったり出来ない。</p>
4-1	<p>■島田の特色について</p> <p>市長から、先ほど島田を好きになって欲しいという話があったが、例えば、藤枝はサッカーのまち、スイーツのまちという特色があるが、島田はこういうまちなんだというキャッチフレーズというものはあるか。</p>	<p>●島田はお茶のまちということで、島田市緑茶化計画を進めている。また、島田大祭のあるまち、宿場町としても栄えたまちでもあり、川越遺跡が残っているのは全国で島田だけとなっている。呉服屋さんも和菓子屋さんも多いし、皆さんが当たり前と思っているそういったものは、江戸時代から脈々とつながり、この島田の一長一短にはできない歴史と文化である。長唄、詩吟、三味線、俳句、短歌などを行っている方たちも大変多いまちであり、市民の文化力をつないできている。</p>

		島田に比べると、藤枝は新しくできたまちであり、藤枝大祭などは、島田大祭に比べると歴史が浅い。
4-2	<p>■島田の特色について</p> <p>緑茶化計画といっても、ピンとこない。もっとアピールできるものがあれば伝えることができるし、特に若い世代が結婚していないということと、子どもが少ないということだったが、今、子どもを育てている方にもうちょっと支援できることがあれば、伝わっていくと思う。</p>	<p>●トーマス、SLが走るまちとしては定評があるし、島田で一番お客さんと呼べる資源である。島田鬻や鬻祭りもある。なんなら、鬻サミットを島田でやってもいいのではないか。</p>
4-3	<p>■島田の特色について</p> <p>駅の辺りで、おび通りはどこですかと聞かれたことがある。駅前におび通りへ案内する看板はあるか。</p>	<p>●サインはあるが、もっと大きくつけた方が良くいつも思う。イルミネーションをおび通りでもやっているが、駅から見えないからおび通りに人が来ない。駅からおび通りに行くためのサインをもっと付けたいと思う。</p>
5	<p>■商店街の活性化について</p> <p>夜7時頃、本通りを見ると歩いている人がほとんどいない。何が原因かという、自動車が增えたことと、大型店の進出が原因。対抗できるのは飲み屋だけ。短時間のイベントをやっても、それは一時的なもの。</p>	<p>●商店街をまるごと活性化することは難しい。でも、駅まで歩いていけるとても良い住環境なので、住む人を増やすまちづくりという方法もある。働きに行くのは、外に行っても良いと思う。働く場所もここで、商店街も元のようにという、なかなか難しい。島田の良さを活かすために、これからのまちづくりについて、方向転換すべきところはしっかり方向転換することを考えていかなければならない。人を呼び寄せるところも必要だし、一方で、閑静な住宅街をつくって行くことも必要。</p> <p>島田は、駅南も変わろうとしている。特種東海製紙横井工場の土地の利活用についても、中心市街地の南北のこれからの街のあり方と併せて計画をつくってやっていこうというところである。</p>
6	<p>■固定資産税の評価額、島田の人の流れについて</p> <p>区画整理が終了して10年経ったが、固定資産税・都市計画税の課税標準額を下げてもらいたい。</p> <p>高齢化し、所得が下がっても、固定資産税、介護保険料、国民健康保険税が固定的にかかってくる。</p> <p>子どもたちは、大学を卒業すると東京に就職してしまう。街の中は人</p>	<p>●固定資産税の評価額は、昨年見直しがあって下がったと思う。税金は、他市に比べれば安いと思っているが、土地の問題で言うなら、これからもっと課題になるのは空き家の問題がある。2030年には、日本中で3軒に1軒が空き家になるという試算もある。放置宅地という懸念もある中で、国もその検討を始めている。</p> <p>土地は、これまでは資産価値があって売れるものだったが、だんだん資</p>

	<p>がいなくなってしまう。島田、藤枝、焼津からは、静岡へ勤めに出てしまい、静岡で買い物をして帰ってくる。島田、藤枝、焼津は静岡への人間の供給基地になっている。</p> <p>市長には、島田全体を上から見て、物事を考えてほしい。</p>	<p>産価値が無くなり、土地をいかに活用するかということをもみんなで考える時代になると思っている。</p>
7	<p>■東洋医学について</p> <p>病院では、ほとんど西洋医学だが、なぜ東洋医学をやらないのか。</p>	<p>●漢方を扱う先生は、何人かはいるが、東洋医学で医師を集めることは難しい。東洋医学については、保険適用の問題であったり、病気にならないことを前提としている考えということがあると思うが、今の病院は病気になってから行くところなので、早く治すために西洋医学を中心にやっていると思う。</p>
8	<p>■振り込め詐欺対策の録音機について</p> <p>隣町のことだが、振り込め詐欺について、電話で5回話をしたが息子ではないことに気が付かず、自分で息子に電話を掛けてようやく気が付いたという。振り込め詐欺を防ぐために、録音機を取り付ける政策を始めた自治体があると聞いたが、島田ではどうか。</p>	<p>●島田も、9月補正に計上している。維持費については負担をお願いすることになる。</p> <p>島田は住みやすく、良い人が多いが、警察署長曰く、良い人が多いからか、島田は振り込め詐欺のアポ電が多い町ということ。アポ電は午前中に掛かってくることが多いとのことなので、気をつけてほしい。</p>
9	<p>■蓬萊橋の景観、大井川の水量について</p> <p>蓬萊橋について、こちら（左岸側）から渡るときは、自然の和の風景だが、逆にあちら（右岸側）から来ると、景観（初倉側から見た風景）が良くない。</p> <p>河川敷に樹木が自生しているが、なぜ1級河川なのに水が少ないのかという質問を蓬萊橋に来た方たちから受ける。</p>	<p>●大井川の水位が低いということは、私もそう思う。大井川の上流には15のダムがあり、長島ダム以外は主に発電用。大井川の水は、一滴残らず水利権があるが、水を流さなければならないという権利も認められて、昔よりはいっくらか水が流れるようにはなっているが、それでも水位が低い。</p> <p>蓬萊橋に物品販売所を造りたい。国交省の規制緩和もあって、ミズベリング協議会で、市民の皆様から意見をいただき、来年の春頃までに物品販売所とお休み処を造り、新たな駐車場を整備していきたい。大井川の水辺の整備ということで、右岸側や、博物館の下のところも併せて考えていかなければならない。</p> <p>リパティは緊急輸送路であり、マラソンコースのために造っているのではない。大きな災害があったときに、大井川港から物資を北へ運ぶための緊急輸送路となっている。平時は使わないので、普段はマラソンコースとして使わせていただいている。水辺の空間利用ということでは、全国どこ</p>

		<p>へ行ってもこんなに活用されている緊急輸送路はない。平時の使い方として、国へは、一つのモデルとなっている。</p> <p>蓬萊橋へは、年間に約12万人の方が来ている。その方たちに、お金を落としていただける場所を造りたい。</p> <p>来年の春には、蓬萊橋のところに勝海舟の銅像を造りたい。牧之原に入植した中條景昭以下幕臣800人を送り込んだのは勝海舟ということが歴史に残っている。勝海舟が幕臣たちを励ます胸の熱くなるような手紙も発見されているため、そうしたものもあわせて、牧之原台地と勝海舟のご縁というものも売りにしていきたい。</p>
10-1	<p>■大井川の水について</p> <p>大井川水系は南アルプスのきれいな雪解けの水だが、この水を生かしたお茶の美味しさを売り込むことはできないか。</p>	<p>●できると思う。</p> <p>南アルプスの水ということで、ペットボトルに入れて売ったらどうかということも考えたが、量の問題などの課題があった。でも、この水を使うからこそ、美味しいお茶を入れることができるので、そこのところはもう少しアピールしたいと思う。</p>
10-2	<p>■大井川の水について</p> <p>掛川は、島田から高い水を買うけど、お米が美味しくなったということ聞いた。</p>	<p>●掛川、菊川、牧之原は、牧之原畑絵の大きな事業の中で、大地の上に水を上げて、水を流していることによって、潤っている。</p>

※ 回答は全て市長から回答した。

④当日の様子

